



DV被害を受けた 女性とこどもの支援 ～心のケア～

特定非営利活動法人パープルネットさいたま
遠藤 珠美

DVとは？

- 支配とコントロール
- 暴力は手段

- 恐怖を与える
- 自己肯定感を下げる
- 自己決定権を奪う



洗脳の手法

DV被害にあうと

- 罵にはめられていくような経験
- 学習性無力感
- 虚言による混乱
- 自尊心・自己肯定感の低下
- 安心して生きる権利を奪う

DVから離れることが困難になる

DVから離れたらハッピーエンド？

- DVは母子関係を壊す
- 愛着関係の形成不全
- 支配－被支配の再現
- 養育機能の不全

回復には長い時間が必要
継続的な多様な支援が必要

支援が必要なのは母親？子ども？

- 安心な環境になり、表現ができるようになる
- どちらがケアする側？
- 不安定な母子関係

母子関係のダメージの評価
心のケア、回復援助が必要

どんな支援が必要か

1. 安心・安全な環境
2. 自分に起きていることの理解(心理教育)
3. 過去の体験と感情を安全な場で表現すること
4. 健康に生きるためのライフスキルを習得すること

福井大学子ども心の発達研究センター 教授
友田朋美氏

母親への支援

1. 子どもの回復を支える → 母子関係の再構築
2. DVについて学ぶ → 被害からの回復
3. 自尊心・自己肯定感の回復 → 母親としての自信
4. つながりを持つ → 一人ではない

本来の自分の力を取り戻す エンパワメント

子どもへの支援

1. 子どもの心の傷をいやすだけでは足りない
2. 安心して話す → そのままを受け止められる体験
3. 暴力について知る 対等な関係・安心な大人を知る
4. どんな気持ちも大切 → 行動は選べる、非暴力
5. 大人の暴力は子どもの責任ではないと知る
→ そのままのあなたが大切な存在

プログラムの効果

1. そのままの自分でいいんだ
2. お母さんといると安心する
3. 子どもがかawaiiと思う
4. 暴力の責任は加害者
5. 暴力のない今の家族が安心

地域の皆様に

- DV被害者は特別な人々ではない
- 暴力の責任は加害者、被害者に責任はない
- 適切な支援があれば必ず回復する
- 地域住民の理解と支援が重要

地域の支援力 → 住民すべてがサポーター

DV被害を受けた女性や子どもに
「びーらぶプログラム」や
私たちの支援が届きますよう
ご協力、ご紹介をお願いいたします

詳しくはHPにて
<https://purple-net.jimdofree.com/>

